

2018年大阪府北部の地震現地調査報告会

2018年06月18日07:58頃、大阪府北部を震源とする最大震度6弱(M5.2)の地震が発生しました。東北大学災害科学国際研究所では、理学、工学、歴史学の専門家の協力体制のもと、この地震災害に関する現地調査を実施しました。この結果に基づいて、現地の被害状況だけでなく、今回の地震の特性や被災地の災害に対する地域特性、更には文化財や歴史資料にまで踏み込んだ情報の蓄積や分析を行いました。これまでに得られた調査・分析結果をお伝えするための報告会を下記の要領で実施致します。

2018年大阪府北部の地震現地調査報告会

日時： 2018年7月6日(金) 13:00-14:10

場所： 東北大災害研1階多目的ホール

次第

1. 挨拶(今村所長) 2分
2. 大阪府北部の地震と活断層について 10分
報告者：岡田 真介 (災害理学研究部門 地盤災害研究分野 助教)
3. 地震動特性について 10分
報告者：大野 晋 (災害リスク研究部門 地域地震災害研究分野 准教授)
4. 構造物被害について 5分
報告者：柴山 明寛 (情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野 准教授)
5. 地盤特性と土地利用について 5分
報告者：森口 周二 (地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野 准教授)
6. 文化財のマッピングと歴史情報の活用 10分
報告者：蝦名 裕一 (人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野 准教授)
7. 大阪府北部の地震による企業への影響について(寅屋敷) 5分
報告者：寅屋敷哲也 (人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野 助教)
8. 質疑応答 13分

司会： 丸谷浩明 (防災社会システム研究分野)